

経済・金融 フラッシュ

ユーロ圏失業率(2022年12月) —雇用環境は低い失業率を維持

経済研究部 准主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

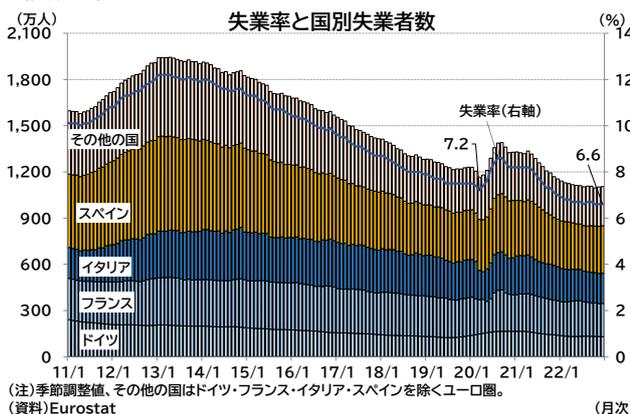
1. 結果の概要:失業率は6.6%で横ばい

2月1日、欧州委員会統計局（Eurostat）はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

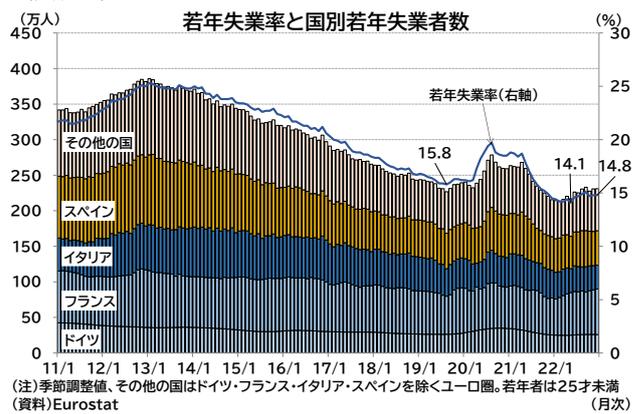
【ユーロ圏失業率（2022年12月、季節調整値）】

- ・失業率は6.6%、市場予想¹（6.5%）を上回り、前月（6.6%）から横ばいだった（図表1）
- ・失業者は1104.8万人となり、前月（1102.5万人）から2.3万人増加した

(図表1)



(図表2)



2. 結果の詳細:低失業率のなか、雇用は一進一退の状況が続く

ユーロ圏の22年12月の失業率は6.6%で、前月（6.6%）から横ばいで、統計データ公表以来の最低値が続いている。11月以前のデータは改定値では、10月と11月の失業率がやや悪化方向に修正された（10月6.5（改定前）→6.6%（改訂後）、11月6.5→6.6%）。

失業者数は12月の前月差で2.3万人増となり、2か月連続でやや増加した（図表3・4）。主要国の失業者数は前月差でドイツが減少（▲1.1万人）、その他の国は増加しており、増加幅が小さい順にイタリア（0.2万人）、フランス（1.9万人）、スペイン（2.4万人）となった。

12月の若年失業率は14.8%で、11月（14.8%）から横ばいだった（図表2）。若年失業率は22年5月（14.1%）をボトムに悪化したのが、足もとでは横ばい推移となっている。なお、11月以前のデータはやや改善方向に修正された（8月15.0→14.9%、9月15.2→15.1%、10月15.0→14.7%、

¹ bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

